フリービット、「pre 5G」技術を仮想的に活用したデータSIMを利用し、音声通話サービスをMVNO事業者向けに展開～MVNO支援パッケージサービス「freebit MVNO Pack」にて、トーンモバイルの技術を活用し、データSIMで電話番号を持つことができるサービスを近日提供開始～

フリービット株式会社（本社:東京都渋谷区、代表取締役社長CEO兼CTO:石田宏樹、以下「フリービット」）は、MVNO（Mobile Virtual Network Operator）支援パッケージサービス「freebit MVNO Pack」において、ネットワークスライシング技術を仮想的に先行導入したトーンモバイルの技術を活用し、データSIMでも固定電話番号（IP電話番号）を利用することができる音声通話サービス「SIM＋050サービス」の提供を近日開始いたします。

「freebit MVNO Pack」は、MVNO事業者様がエンドユーザーに対し、自社ブランドでのモバイル通信サービスを独自の柔軟なプランで提供できるサービスで、低コストかつ短期間で事業を開始できるため多くのMVNO事業者様にご利用頂いておりますが、この度、さらなる利便性向上及びエンドユーザー獲得拡大につながる「SIM+050 サービス」の提供を開始します。

「SIM+050 サービス」は、手間のかかる手続きが不要（12月11日 時点）なうえに安価なデータSIMを利用し、IP（050）番号でありながらも低価格でモバイル音声通話サービスを行えるもので、“かけ放題”プランをも可能にしています。

当該サービスは、従来、当社グループのB2C事業であるトーンモバイル向けに開発、運用されてきたものですが、当社グループの次期中期経営計画「SILK VISION 2024」に向け導入した「ゾーンマネジメント」に則り、既存事業を維持する領域である“パフォーマンスゾーン”に位置する当社MVNE事業が受ける「破壊的な技術」による影響を回避するため、当該サービスをオープン化し、新規事業を育む領域である“インキュベーションゾーン”の技術を活用した新しい「freebit MVNO Pack」として、トーンモバイル以外の他のMVNOに提供し展開してまいります。

また当該サービスは、これまでトーンモバイルのサービスとして提供してきたことで、低コストでありながらも高い通話品質を保持しているとの定評を得ていることに加え、SIMとIP電話サービスを垂直統合したことにより通信回線が混雑している場合においてもIP電話が優先的に通信の安定性が確保できる独自の制御技術の導入も予定しています。

この制御技術は、今後普及が期待されている5Gでのネットワークスライシング技術を仮想的に先行導入する、いわば『pre 5Gの世界』を現実にするものとなっています。

フリービットは、これからも独自のITテクノロジーを活かし、SiLK VISION 2024へ向けて、5Gの本格普及前に様々なかたちでpre 5Gの技術を活かしたサービスを展開していきます。

以上

※ すべてのブランド、製品名、会社名、商標、サービスマークは各社に権利が帰属します。

【freebit MVNO Packについて】
導入事業者様独自のプランでのモバイル通信サービスを、自社ブランドで低コスト、短期間で行うことができ、必要な帯域幅を必要な時にご提供することができるため利便性に優れていることに加え、MNO（NTTドコモ）との接続や運用・監視は、当社が行いますので、事業者様は、販売、マーケティング、エンドユーザーサポートにリソースを注力することができます。

また、事業者様のニーズに合わせ、クラウドサービスやセキュリティ機能などの多様な付加サービスもご提供いたします。

【フリービット株式会社について】
フリービットは、インターネットをひろげ社会に貢献することを企業理念に掲げています。特許取得技術を含む最先端のテクノロジーと、市場のニーズを先取りするマーケティングを組み合わせて独自のネットワークサービスを展開し、「IT時代のものづくり」をキーワードに新たな価値を創造するソリューションを提供しています。

【報道関係者からのお問い合わせ】
フリービット株式会社 グループ経営管理本部 広報担当
Mail: press@freebit.net 電話番号：03-6416-1965

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com